



大地震 対応カード

(教育学部版)



(2024.4発行)



地震が発生したら

◆身の安全を確保!

1. 机・テーブルなどの下に身を伏せ、落下物から身を守る。
2. 戸棚、器具など倒れるものから身を離す。
3. 避難用ドアを開け出口を確保する(落下物があるので外に出ない)。
4. 高層建物では揺れが大きいため、窓側から離れ、柱や手すり等にしがみつくとよい。
5. 火器の元栓を閉め、電源を切る。

地震発生時のフローは
裏面へ >>



揺れが収まったら

1. 初期消火

火が天井に移ったらあきらめて速やかに避難。

2. 救助活動

まわりに声をかけ、助けやすい現場から。

3. 負傷者への対応

できる範囲で止血、人工呼吸などの応急処置をする。

4. 避難開始

余震に注意し、所定の避難場所へ避難する。



緊急時パーソナルメモ

氏名 _____

所属 _____ 学籍番号 _____

住所 _____

電話番号 _____

生年月日 _____ 血液型 _____ RH (_____)

持病 _____ 常備薬 _____

アレルギー _____

自宅近くの避難場所 _____

<緊急時連絡先>

氏名 _____ (間柄 _____)

電話番号 _____



家族との連絡 方法①

◆携帯各社の災害伝言板サービス

大規模災害時に携帯電話から安否確認(安否情報の登録)ができる災害用伝言板サービス。

【NTTドコモ】



【au】



【ソフトバンク】



【ワイモバイル】



家族との連絡 方法②

◆NTT災害伝言ダイヤルサービス

ダイヤルは…1711

●自分の情報を相手に伝える = 伝言録音

- ① 「1711」
- ② ガイダンスに従って「1」
- ③ 自分の電話番号を市外局番からダイヤル
- ④ 「1#」
- ⑤ 30秒以内でメッセージを録音

●相手の情報を聞く = 伝言再生

- ① 「1711」
- ② ガイダンスに従って「2」
- ③ 相手の電話番号を市外局番からダイヤル
- ④ 「1#」
- ⑤ 相手のメッセージを再生

※伝言保存期間/2日間(48時間*自動消去)



大学による 安否確認

1. 震度6弱以上の場合は大学が安否確認をするので、本学からの確認メールに対し返信すること。
2. メールが届かない場合は、各自が下記の電話番号へ連絡すること。

026-238-4005 (学生)

026-238-4011 (教職員)

※電話がつながりにくくなる可能性が高いので、なるべくEメールで連絡。

報告事項

- ① 所属・学籍番号
- ② 氏名
- ③ 本人や家族の状況
- ④ 自宅や避難場所の状況



その他緊急時の 連絡先

【学生関係の場合】
学務係 026-238-4005

【勤務時間内(8:30~17:15)】
管理係 026-238-4031
会計係 026-238-4026
庶務係 026-238-4011
図書係 026-238-4061
長野附属学校係 026-243-0633
松本附属学校係 0263-37-2212

【時間外・夜間・土日祝日等】
(指導教員に連絡がつかない場合)]
警備会社 026-222-2488

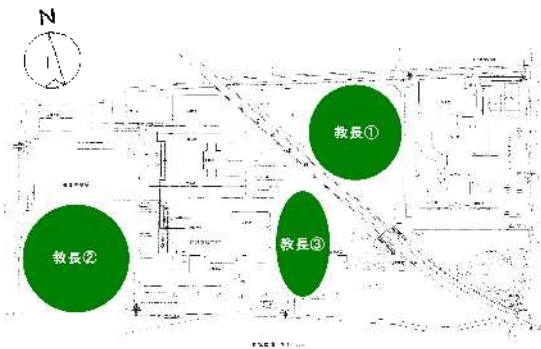
(信大災害・緊急ダイヤル)
0263-37-3333

(災害時優先電話)
教育学部管理係 026-232-8100
附属長野中学校 026-243-0633
附属特別支援学校 026-241-1178

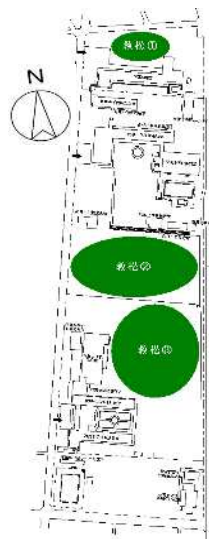
信州大学教育学部避難場所



長野附属学校園避難場所



松本附属学校園避難場所



地震発生時のフロー

(地震発生)

身を守る!



必要に応じて

- ①初期消火
- ②救助活動
- ③負傷者への対応

教職員の指示に従い
一次避難場所へ避難
(左図参照)

教職員の指示に従い
二次避難場所へ避難

大学本部からの
指示を待つ

